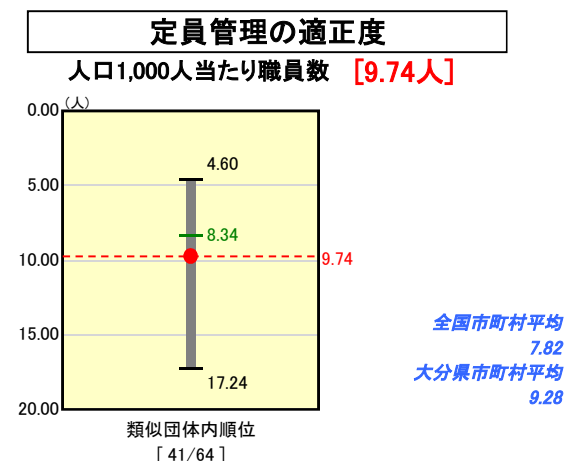
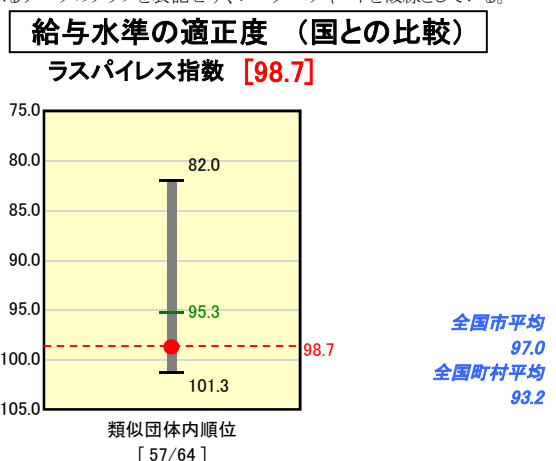
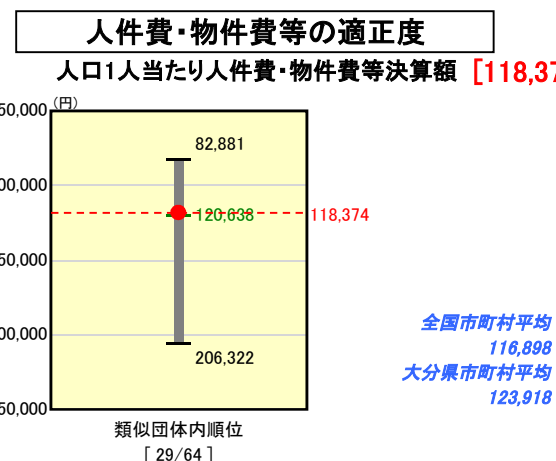
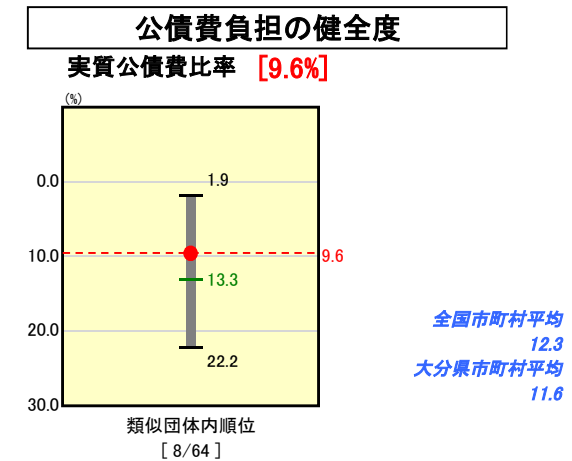
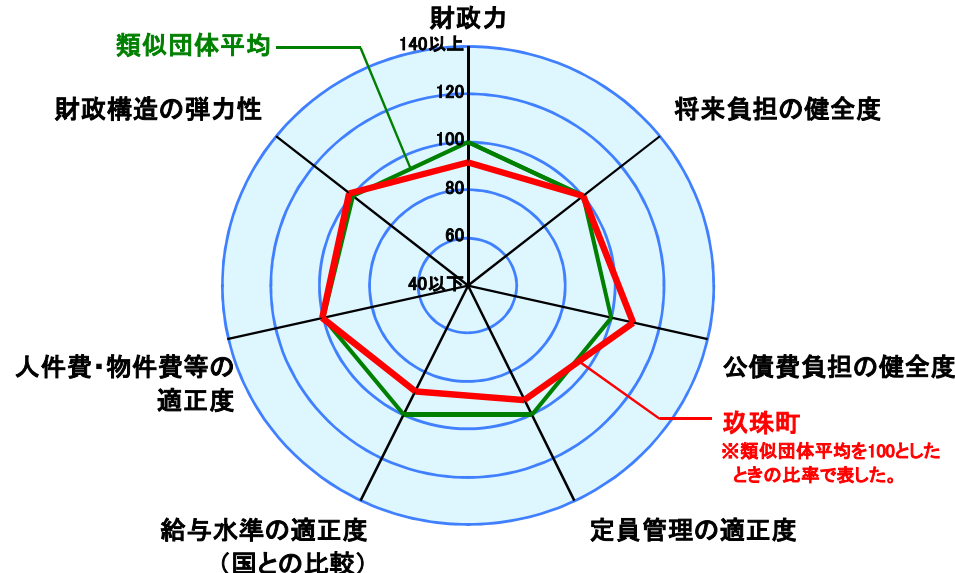
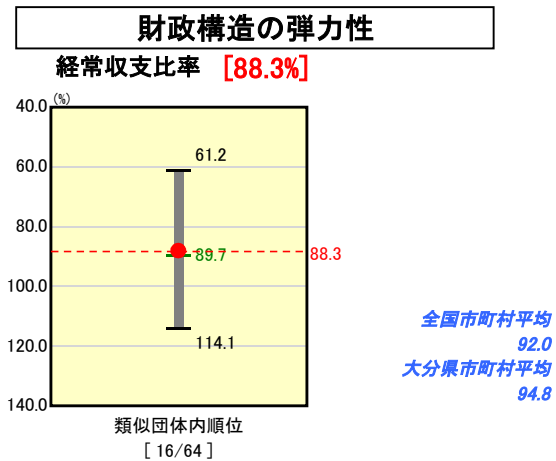
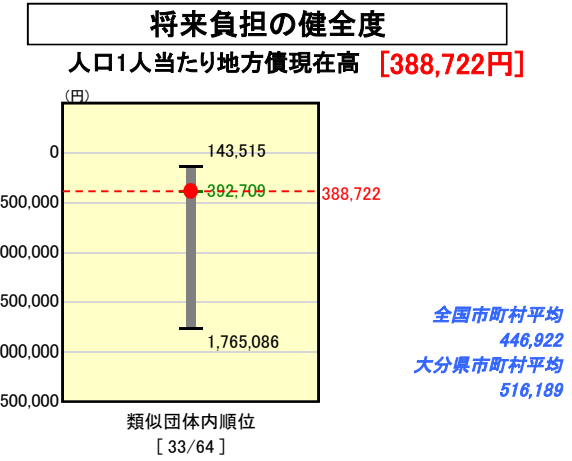
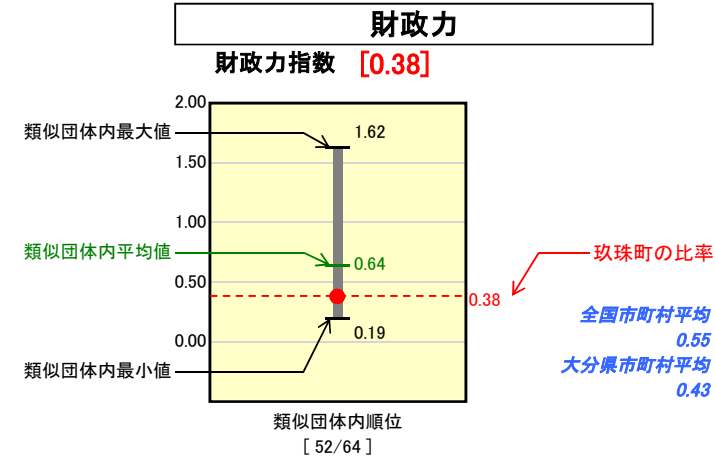


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

大分県 玖珠町

人口	18,275 人(H20.3.31現在)
面積	286.44 km ²
歳入総額	8,479,899 千円
歳出総額	8,065,163 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 所得税から住民税への移譲により町税は増加したが、それ以外の増加要因はほとんどなく伸び悩んでいる。また、人口の減少等に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、0.38と類似団体平均よりも低くなっている。企業誘致による町税等の収入確保、使用料・手数料の見直し等を中心とする歳入確保に努め、財政基盤の強化を図る。

【経常収支比率】 歳入は普通交付税の増加、歳出は人件費・扶助費の減少により、対前年度比1.4%改善され88.3%となっている。類似団体平均よりも良好であり、今後も事務事業の見直しを更に進め、人件費等義務的経費の削減、各種団体への補助金の削減等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、指定管理者制度の活用等により、経常経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 全国市町村平均と比較すると良くないが、類似団体平均よりも良好である。物件費については増加傾向にあるので歳出の見直しを行い削減を目指す。人件費については職員数の削減により抑制していく。

【ラスパイレズ指数】 平成17年度から集中改革プランの推進に基づく各種手当の見直しや給与カット(5%)を実施するなど、給与制度の適正化に努めている。今後においても国の給与制度に準じて制度運用を行い、より一層の給与の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】 類似団体平均よりもやや良好であるが、年度末における現在高は増加傾向にある。地方債発行額の上限枠設定、発行の抑制等により、類似団体の平均よりも悪化しないように財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】 一部事務組合のし尿処理施設等の公債費償還等により9.6%となっているが、類似団体平均と比較するとかなり良好である。緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、健全な財政運営に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 定員適正化計画の中で、機構改革や業務委託、退職者不補充等の実施により適正化に努めている。今後も集中改革プランとの整合性を考慮し、住民サービスを低下させないよう事務事業等の見直しを進めるとともに、計画的削減に努める。